

“植物のチカラ” NISSHIN oillio

株価

3,060
円

2021.8.31
終値

優待品
換算金額

1,500
円

通期

1株当たり
配当金

90.0
円

2022.3 (予)

配当
利回り

2.9
%

2022.3 (予)

割当
基準日

3月末日

市場

東1

NET-IR



株主優待

割当基準日3月末日

1,500円相当の自社製品

(100株以上)

3,000円相当の自社製品

(200株以上)



3,000円相当の自社製品例

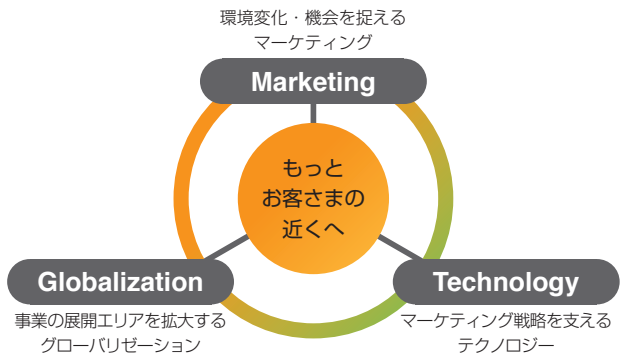
食用油のリーディングカンパニー “植物のチカラ”を原点に、持続的な成長を目指す

日清オイリオグループは、創業以来、食用油のリーディングカンパニーとして、植物がもつ「おいしくするチカラ」「健康にするチカラ」「美しくするチカラ」を最高の技術によって引き出し、世の中にお届けしています。

当社グループは、2021年3月、長期的な視点に立った「日清オイリオグループビジョン2030」を策定しました。2030年度には連結売上高5,000億円、同営業利益300億円、ROE8%以上の事業規模を目指します。また、その実現に向けた2021年度から2024年度までの4カ年の中期経営計画「Value Up+ (バリューアッププラス)」もスタートさせています。“植物のチカラ”と“油脂をさらに究めた強み”で、食の新たな機能を生み出すプラットフォームの役割を担い、多様な価値を創造し、“生きるエネルギー”を全ての人にお届けする企業グループを目指していきます。

成長に向けた基本方針「ビジョン2030」策定

当社グループでは、「2030年に目指す姿」と「戦略の指針」を示すことを目的に「日清オイリオグループビジョン2030」を策定しました。これまでより「もっとお客さまの近く」でビジネスを展開するという基本方針の下、「Globalization」「Technology」「Marketing」の3つのキーワードを設定し、さらなる企業価値の向上を目指していきます。



投資家の皆さまへ



代表取締役社長
く の たかひさ
久野 貴久

昨今、地球規模での環境問題や社会課題の累積、コロナ禍による消費・生活行動の変容や一層の多様化の進展など、企業市民として、これまで以上に持続可能な社会「サステナビリティ」に貢献していくことが求められています。こうした認識の下、当社グループでは、将来にわたって持続的に成長し、持続可能な社会の実現に貢献するため、「日清オイリオグループビジョン2030」を策定しました。これからも貴重な植物資源を活かし、お客さまの視点に立って、価値ある商品・サービスを高い技術と品質でお届けし、「おいしさ・健康・美」の追求を通して、人々・社会・経済の発展に貢献していきます。

会社プロフィール

1907年、大豆油と大豆粕の製造加工・貿易を行う日清豆粕製造(株)を創立。18年に社名を日清製油(株)と改め、各種植物油脂・油粕などを製造。24年、精製度の高い大豆油を使い、日本初のサラダ油「日清サラダ油」を発売。以後、食用油メーカーとして業界をリードする。49年に東証1部に上場。92年に「日清キャノーラ油」、96年に「BOSCOオリーブオイル」を発売。2002年、経営統合により日清オイリオグループ(株)が誕生。2003年に特定保健用食品「ヘルシーレセット」を発売。2007年、創立100周年。2021年「日清オイリオグループビジョン2030」策定、中期経営計画「Value Up+」スタート。



DATA (2021年3月末日現在)

- 設立: 1907年3月
- 資本金: 16,332百万円
- 市場: 東1
- 決算月: 3月
- 発行済株式数: 34,667千株
- 従業員数: 3,001人

2602 日清オイリオグループ

お問い合わせ先

〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1
 日清オイリオグループ(株) コーポレートコミュニケーション部
 TEL.03-3206-5005 <https://www.nisshin-oillio.com/>

おいしさ・健康・美 を追求する事業展開

3つの事業戦略領域で、当社グループの強みにさらに磨きをかけ、食の新たな機能を生み出すプラットフォームの役割を担うことで、新たな価値創造を実現していきます。

- 〈油脂・油糧〉 ■ホームユース(食用油) ■業務用食用油 ■加工用食用油
 ■油粕 など
- 〈加工油脂〉 ■パーム加工品 ■チョコレート用油脂 ■マーガリン
 ■ショートニング など

食用油や食品用・肥料用のミール(油粕)など油脂原料のもつ「植物のチカラ」を最大限に生かし、毎日の食生活を支えるとともに、パーム油をベースにした油脂をはじめ、多様な用途に対応した食用加工油脂を開発・販売しています。日本国内だけでなく、マレーシアを中心に欧州・中国などにも拠点をもち、グローバルに事業を展開しています。



油脂
 売上高 2,692億円

売上高構成比 80.0%

2024年度までに
 目指す姿

- ・コアコンピタンスの油脂を究める
- ・油脂の価値を高め、価値を創造する
- ・グループ全体の推進エンジンとなる
- ・チョコレート用油脂を中心とする
- ・スペシャルティファットの世界トップレベルの企業グループとなる

加工食品・素材

売上高 500億円

売上高構成比 14.9%

- チョコレート ■調味料
- 機能性素材・食品 ■大豆素材・食品

チョコレートや調味料などのほか、中鎖脂肪酸(MCT)やウエルネス食品、加工食品向けの大豆蛋白商品などを開発・販売しています。

2024年度までに
 目指す姿

- ・アプリケーション技術や食品の開発力を磨き、食品としてのおいしさや健康においてお客さまの共感を生み価値を創造する
- ・当社グループがもつ食品素材を体系化し、食の潮流の変化を捉えて、市場ニーズに迅速に 대응
- ・油脂の価値を高める好循環サイクルを作る



ファインケミカル

売上高 142億円

売上高構成比 4.2%

- ファインケミカル ■環境・衛生

化粧品分野を中心とした機能性素材のほか、アルコール製剤や洗剤などを開発・販売しています。日本国内だけでなく、スペイン・上海にも拠点を置き、グローバルに事業を展開しています。

2024年度までに
 目指す姿

- ・エステル合成技術の優位性を活かした化粧品油剤のリーディングカンパニーとなり世界での存在感を強める
- ・植物資源を活用した新たな価値の創出に挑戦する



体脂肪やウエストサイズを減らす!
 「日清MCTオイル」

当社グループは、健康維持に役立つことが期待される「日清MCTオイル」を「体脂肪やウエストサイズ」に関する機能性表示食品として消費者庁に届出を行い受理されました。2021年秋より順次、「日清MCTオイル」のパッケージをリニューアルしていきます。



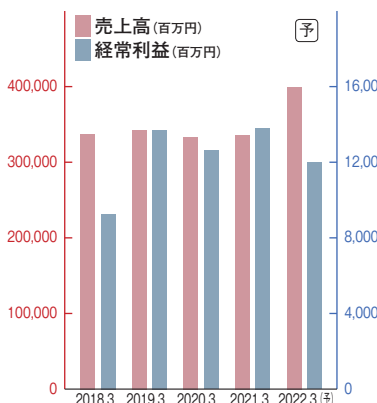
機能性表示食品
 のパッケージに
 リニューアル!



MCTの主成分、中鎖脂肪酸はココナッツなどのヤシ科植物に含まれる成分です。当社ではMCTの優れた健康機能に着目し、長年にわたり研究開発を行っています。

*売上高および売上高構成比は2020年度、これらのほかに「その他の事業」の売上高構成比が0.8%あります
 ※端数調整の関係により数値が一致しない場合があります

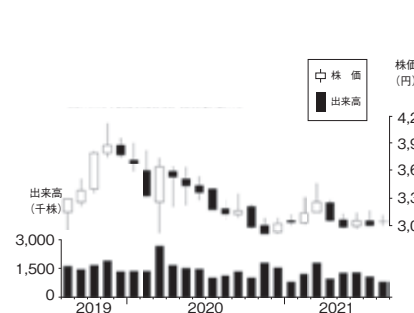
業績 (連結)



決算期	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3(予)
売上高(百万円)	337,998	343,059	333,416	336,306	400,000
経常利益(百万円)	9,276	13,716	12,634	13,836	12,000
1株当たり利益(円)	203.9	264.9	244.6	278.3	237.6
1株当たり配当金(円)	60.0	80.0	80.0	80.0	90.0

(併) 2017年10月1日、5:1 (消) 2021年4月30日、951千株
 ※1株当たり利益および1株当たり配当金は、2017年10月1日の株式併合が2018年3月期の期首に行われたと仮定して算定
 ※2022年3月期の予想値は、2021年8月6日の公表値

株価チャート (月足)



※最新の株価については [net-ir \(www.net-ir.ne.jp\)](http://www.net-ir.ne.jp/) でご確認ください。

- 1000~
- 2000~
- 3000~
- 4000~
- 5000~
- 6000~
- 7000~
- 8000~
- 9000~